

とみまつ たかし
富松 崇 議員
(新政会市民クラブ)



◇学校の教育現場について

学校の教育現場について

小学校の教育現場について

質問 市内小学校での授業中に落ち着きがなく歩き回る児童はいるのか。
教育長 羽村市立小学校第1学年の状況については、3名である。他学年の状況については、気になる児童として第2学年3名、第3学年1名、

第4学年0名、第5学年6名、第6学年2名である。

中学校の教育現場について

質問 いじめ等による不登校や、相談を受けている生徒はいるのか。

教育長 市内中学校における、いじめ等が原因の不登校生徒数は、平成22年度では3名である。また、学校がいじめを認知した件数は、第1学年は19名、第2学年は15名、第3学年は4名、合計38名である。

質問 そのような場合の対応は。

教育長 学級担任や他の教職員が生徒から状況を聞き取り、必要に応じてスクールカウンセラーや教育相談室の相談員がカウンセリングを行うなど、学校だけでなく様々な機関が連携・協力しながら対応している。教育委員会では、毎月の欠席状況、いじめの認知やその対応についての報告をさせるなどを通して、きめ細かい対応ができるように学校を支援している。



▲セラピー用の遊具なども備えた教育相談室の多目的室

すずき たくや
鈴木 拓也 議員
(日本共産党)



- ◇羽村駅西口区画整理見直し今こそ
- ◇よりよい学校教育をめざそう
- ◇高校・大学等への進学支援を

羽村駅西口区画整理の見直し今こそ

質問 2月に発表した第2次設計案(換地案)の特徴は何か。

市長 第1次案へ寄せられた意見・要望を最大限反映するなどした。

質問 1次案と2次案を比較して、清算金が増えた人、減歩(土地が減ること)が増えた人は何人か。

市長 算出していない。

質問 1次案には意見書を出さなかったが、2次案には出した人は何人か。

市長 96人である。

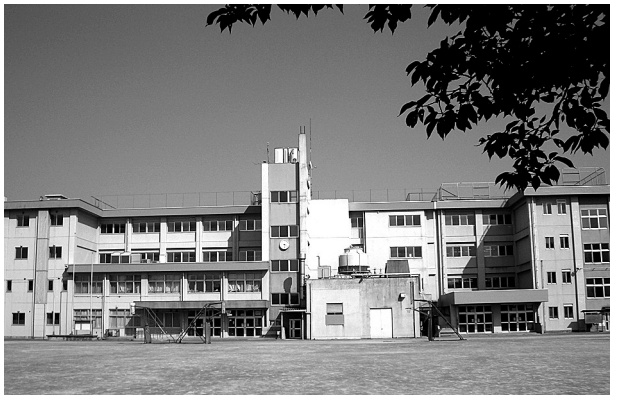
質問 2次案に対して312人もの権利者から意見書が出された。これは、区画整理方式による街づくりの困難さが表れているのではないか。

市長 2度にわたり換地案を示し取り組んできた。困難さにはつながらない。

よりよい学校教育をめざそう

質問 きめ細かな指導ができるよう少人数学級の提案を続けてきた。実施状況はどうか。

教育長 国・都の制度により、小作台



▲小作台小学校

小の1年生を37人学級から24〜25人学級へ、一中の1年生を39〜40人学級から33〜34人学級とした。

質問 羽村市独自でさらに少人数学級をすすめるべきでは。

教育長 国・都が計画的にすすめているので、市は学習サポーターの配置などできめ細かな対応をとっていく。

教職員の採用方法について

質問 市内小中学校の先生はどのように採用されているのか。

教育長 羽村市内の公立学校に勤務する教員の採用については、東京都教育委員会が行っている選考の合格者を、羽村市教育委員会が面談等、

所定の手続きを経て、教員として採用している。

◇原発事故に対する対応について

◇電気供給契約制度の見直しを

◇武蔵野小前通りの安全対策



もんま ひでこ
門間 淑子 議員
(市民ネットワーク「いきいき広場」)

原発事故に対する対応について

福島原発事故による放射性物質の拡散は、広範囲に広がり、大きな被害を与え、事故は未だ収束していない。
質問 地域防災計画に、原発事故対策を加えるべきではないか。

市長 見直しの際に、原子力災害の内容を加えて、施策を立案する。

質問 放射性物質測定器を購入し、市内の大气・土壌・水・食品などを定期的に測定し、結果を公表してはどうか。
市長 水道水は週2回測定し、公表している。大气については、簡易的な測定器を備え、庁内に放射能対策委員会

を設置し、測定実施を検討している。

質問 学校・保育園・水上公園のプール水を定期的に測定してはどうか。

市長 東京都の説明は、プール水は個別に測定する必要があるというものである。羽村市も同様の考え方で対応していく。

質問 夏の節電計画で、土日開庁をどちらか1日にしてはどうか。

市長 東庁舎の業務を、申請・受け取り等の手続きの多い月に特化したことにより、光熱水費を削減し、節電できるため、現在のところ考えていない。

電気供給契約制度の見直しを

電力の自由化により、東京電力以外の民間電力会社との契約が可能となり、10%以上の料金削減ができる。自由契約を実施した省庁・自治体では、大きな効果を上げているが、対応を問う。
質問 行財政改革の観点から、特定規模電気事業者と契約を進めてはどうか。
市長 効果の高い施設から試験的に導入し、影響等を検証していきたい。

質問 自由契約が可能な公共施設数は。

市長 28施設である。

武蔵野小前通りの安全対策

質問 ガードレールなどの安全対策を実施すべきではないか。

市長 車線規制ポールを設置し、安全対策を図っていく。



▲水上公園

高校・大学・専門学校進学への支援を
質問 3月議会で、廃止した高校入学奨学金のかわりにステップアップした施策をつくと市は表明した。具体化したか。
教育長 内部で検討しているところである。